

技術委員会報告

理事・技術委員長 谷川 力

はじめに

最近、やっと対面での会議もできるような環境になり、オンラインと併用したハイブリッドでの開催になった4月6日の報告を中心にまとめた。前回に続き、委員会は2021年12月22日(対面)、2022年2月4日(オンライン)、4月6日(ハイブリッド)にて行った。出席者は清水一郎会長、元木貢副会長、安居院宣昭顧問、渡邊徹感染症委員長、小松謙之技術副委員長(シー・アイ・シー)、木村悟朗(イカリ消毒)、佐々木健(アペックス産業)、芝生圭吾(鵬凶商事)、峯岸利充(国際衛生)、森義行(三共消毒)、渡邊賢太郎(帝装化成)、そして新たに富岡泰浩(イカリ消毒)を迎え会議を開催した。

以下、今回報告のトピックをまとめた。

1. 府中市依頼の市民向け「危険な外来生物について」の講演会

府中市より件名の市民向け講習の依頼を受け、技術委員の佐々木健委員が担当した。内容はいつもの機関誌技術委員会報告にあるヒアリをはじめ、セアカゴケグモ、カミツキガメ、サソリ等について解説した。特にヒアリは演者が毎回のように調査や駆除を担当していることから、体験も含めた苦労話、危険性や駆除方法を身近に感じてもらえたと好評であった(図1)。なお、東京都港湾部のヒアリはいまだに継続して発見されており*、定着が疑われている。

*本件は入札案件のため、継続した事業には至らなかったが、引き続き東京都ペストコントロール協会では依頼があれば対応したいところである。

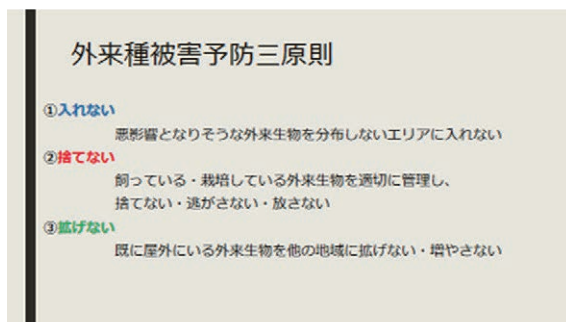


図1 府中市「危険な外来生物について」当協会技術委員 佐々木健講演資料より

2. ホームページでの害虫相談「カビ」の開設

ハチ、ネズミなど事務局に害虫相談の多い害種について、ホームページ上でわかりやすい害種ごとに種類、生態、対策をまとめている。久しく更新はされていなかったが、相談の多い上位から選び、本件のカビで22項目になった。カビは種類が多く、また同定も難しい。今回は麻布大学生命・環境科学部食品安全科学研究室の小林直樹先生の協力を得て、技術委員の渡邊賢太郎委員との共同でまとめることができた(図2)。

3. ゴキブリ指数の検討

技術委員が所属する企業にお願いし、ゴキブリの出没感と指数の関係を検討している。過去のゴキブリ指数は1以上では多いと感じ、

それ以下だと多いイメージが無いという報告であったが、今回はそれ以下の指数でも多いと感じる結果がまとまりそうである。今回は報告のみであったが、これをまとめて新たな提案をすることで快適な環境を維持できると確信している。

4. 島嶼の有害生物調査

前回の機関誌(機関誌No.83; 2022)で報告した東京都内であるにもかかわらず、害虫調査が統一的に実施されていない島嶼の調査、検討に入るが、今年は5月に八丈島、10月に三宅島を予定している。調査後の報告は本誌および興味ある知見がある場合には学会報告にもまとめる予定である。

カビは家中のいたるところに発生します！

近年の住宅は高気密高断熱の住宅が多いので、温湿度管理を間違えるとカビの発生を助長します。

害虫相談

お近くの害虫相談員をご紹介します。

害虫相談の内容

該当のボタンをクリックしてください。

ハチ	ヘビ
ネズミ	ダニ
ハクビシン	カ
ケムシ	大型ハエ
シロアリ	コバエ
ハト・カラス	ノミ
トコジラミ	食品害虫
ゴキブリ	衣類害虫
コウモリ	木材害虫
アリ類	ノコ
ヤスデ	カビ
ムカデ	ゲジ

図2 東京都ペストコントロール協会の新しいカビのバナー(赤丸)とその内容の一部